

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

近未来技術を活用した夢のあるまちづくり

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

仙北市

### 3 地域再生計画の区域

仙北市の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 4-1 地方創生の実現における構造的な課題

仙北市は、秋田県の東の玄関口に位置する中山間地であり、経済産業分析において情報サービス業やIT関連事業が圧倒的に少なく、若年層における高学歴人材の回帰や地元定着、移住を実現させるための業種が不足している。

#### 4-2 地方創生として目指す将来像

人と事業が集まり、育つ”場”となることで、これまで受け継いできた地域資源の価値を再認識するとともに、近未来技術を積極的に活用した事業創造モデルの確立を目指すものである。

#### 【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
近未来技術関連における起業及び事業拡張数（社及び事業）	0	2	3	5

起業、事業拡張相談件数（件）	1	25	35	40
----------------	---	----	----	----

	KPI増加分の累計
近未来技術関連における起業及び事業拡張数（社及び事業）	10
起業、事業拡張相談件数（件）	100

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

近未来技術を活用した新たな産業づくり支援協議会を運営し、近未来技術の実生活への普及に取り組む企業を積極的に呼び込むための補助金を創設するとともに、選定された助成事業及び選定されなかった事業も含め、協議会構成員とのマッチング及び事業自立化に向けたサポートを行い、地元根ざした企業育成と自立した新たな産業の創出に取り組む。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

#### ① 事業主体

仙北市

#### ② 事業の名称：人と事業が「集まり」「育つ」未来創生事業～近未来技術を活用した夢のあるまちづくり～

#### ③ 事業の内容

事業の全体管理として近未来技術を活用した新たな産業づくり支援協議会を運営し、近未来技術の実生活への普及に取り組む企業を積極的に呼び込むための補助金を創設し、協議会構成員等を選考委員とし、助成事業を決定する。また、選定された助成事業及び選定されなかった事業も含め、協議会構成員とのマッチングを図り、地元根ざした企業育成に取り組む。加えて、近未来技術に関連した人材との交流に

より近未来技術の普及及び機運を高めるとともに、仙北市での事業自立化に向けたサポートを行うことで、3年間で自立した新たな産業を多数創出する。

#### ④ 事業が先導的であると認められる理由

##### 【自立性】

誘致した実証実験は、市の中小企業振興施策（一般財源）の活用により、実証実験よりも初期投資を軽減した環境で実運用サービスが展開されていき、やがては本市にとどまらず、全国で実運用サービスが展開されていく。映像コンテストは平成28年度に設立した「仙北市近未来技術を活用した新たな産業づくり支援協議会」の実動部隊である Semboku Flight Planning等が主体となり、人材交流などから近未来技術活用の機運を醸成し、参加費や協賛金による運営とする。事業化支援については、1年目から参加費を徴収し、4年目以降は事業化支援団体による事業継続を目指す。

##### 【官民協働】

協議会にドローン製造メーカー及び既に近未来技術を活用した事業を展開している企業等が参画することで、実サービス展開に向けた具体的な助言が可能となる。また、金融機関が参画することで個別事業の自立に向けた市内企業とのマッチングなどの動きを加速することができる。

##### 【政策間連携】

既存の仙北市中小企業振興施策と連携し合い、事業拡張及び起業家を支援することで相乗効果を図る。また実証実験では、観光、農業、福祉などの各種課題を複合的に解決する取り組みを選考し、各部門の施策との連携を図っていく。

##### 【地域間連携】

秋田県（産業技術センター）から産業化に取り組む事業者へ技術的な助言・支援を行うことで、仙北市での実績を基にさらに売れる技術・製品の開発が可能になり、秋田県が先導し、県内各地に近未来技術による産業を創出することができる。

##### 【その他の先導性】

特になし

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
近未来技術関連に おける起業及び事 業拡張数（社及び 事業）	0	2	3	5
起業、事業拡張相 談件数（件）	1	25	35	40

	KPI増加分の累 計
近未来技術関連に おける起業及び事 業拡張数（社及び 事業）	10
起業、事業拡張相 談件数（件）	100

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

条例で設置している「仙北市総合政策審議会」において、事業実績を基にその効果について検証を行い、総合戦略に反映する。

【外部組織の参画者】

市内団体等（観光連盟、商工会、農業協同組合、森林組合）、秋田大学、市民及び議会の関与を得ながら検証結果をまとめる。

【検証結果の公表の方法】

検証結果は毎年度、仙北市ホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 25,841千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 近未来産業育成事業

事業概要：仙北市指定ドローン飛行エリア環境整備費及びドローン操縦士育成講座の実施並びに近未来技術活用による夢のまち産業育成費補助金の助成等を実施。

実施主体：秋田県仙北市

事業期間：平成29年度～平成31年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

条例で設置している「仙北市総合政策審議会」において、事業実績を基にその効果について検証を行い、総合戦略に反映する。

【外部組織の参画者】

市内団体等（観光連盟、商工会、農業協同組合、森林組合）、秋田大学、市民及び議会の関与を得ながら検証結果をまとめる。

### 7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

#### 【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
近未来技術関連における起業及び事業拡張数（社及び事業）	0	2	3	5
起業、事業拡張相談件数（件）	1	25	35	40

	KPI増加分の累計
近未来技術関連における起業及び事業拡張数（社及び事業）	10
起業、事業拡張相談件数（件）	100

### 7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

検証結果は毎年度、仙北市ホームページで公表する。